

# 「人とのつながり」大切さ実感

ベトナム・ハノイで学生部セミナー

## 学生寄稿

学生部セミナー「ベトナムへ行く」が3月1日から10日まで阿藤正道学生部長ほか学生10人が参加して開催された。ハノイ市をはじめ陶器のまち「バッチャン村」、世界遺産のハロン湾などを見学したほか国際交流協定校のベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学を訪ね、学生たちと交流、ベトナム語学研修、ホームステイも体験し、学生たちは、密度の濃い10日間を過ごした。2学生から寄稿してもらった。



▲ ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学の学生たちと一緒にベトナムでの歓迎会で



▲ ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学のキャンパス



▲ バッチャン村で右は阿藤学生部長



▲ ベトナムの学生と一緒に。左端が佐藤さん

佐藤 翔 (法3)

今回の学生部セミナーで一番印象に残ったのは、ベトナム人の学生の向学心の高さでした。私たちが主に交流した



▲ ホームステイ先でくつろぐ…。左から2人目が谷地さん

谷地 加奈恵 (商4)

今回の研修で何よりも印象的だったことは、日本企業で働いてきたベトナムの学生が、その姿を見て、自分から、そのために必要な努力を積まなければならないというベトナムの学生が、志の高さを感じました。学生たちは、とても熱心で、

## 年長者を大切に

### 有意義なホームステイ

道端ではパンを売って、天秤棒やかごに果物や雑貨を積んで売ったりして、必死に生活している人がいる半面、ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学の学生は、服装に気を遣っていてオシャレ。アルバイトをせずに勉強に専念できる環境が整っていると思えました。ベトナムの生活を間近で見、貧富の差を感じました。勉強したくても金銭的余裕がないため、大学進学、高校進学ができない学生がたくさんいます。それに比べて大学

自分の目標や夢に向かって努力をしていました。その姿を見て、自分から、そのために必要な努力を積まなければならないというベトナムの学生が、志の高さを感じました。学生たちは、とても熱心で、

は、現地でも食べた料理の準備を手伝ったり、後片付けしたり、おばあさんのご飯をよそったりする姿をみて、当たり前のことかもしませんが、「ベトナム人は年長者を敬い、家族をとても大切にしている」ということを実感しました。おばあさんとお母さん

は、現地でも食べた料理の準備を手伝ったり、後片付けしたり、おばあさんのご飯をよそったりする姿をみて、当たり前のことかもしませんが、「ベトナム人は年長者を敬い、家族をとても大切にしている」ということを実感しました。おばあさんとお母さん

旅行では経験のできないホームステイや、ベトナム語研修、ベトナム人学生との交流など、さまざまな経験をすることができました。

積極的に話しかけてくれたので、ベトナム人学生とはすぐに打ち解けられました。日本語が

いときには「話したい」という気持ちはお互い伝わっても、分かっていただけではなく、好きな歌や恋の話もできたので楽しかったです。これからは、メールで交流を続けていきたいと思っています。

ベトナム人学生やホームステイ先の家族と別れる寂しさや、やり遂げた満足感を感じ、とても有意義な10日間となりました。セミナーに参加して本当に良かったと感じています。

## 向学心高い学生たち

### 日本の良さも気づいた

人よりも知っています。とても驚きました。そして、日本についてわからないことがあると、積極的に私たちに質問してききました。しかし、すべての質問に答えられたわけではなく、授業中に寝る人はいないそうです。日本の大学ほど細部にまで行き届いた設備が整っているとは言いえないまでも、授業に集中して一生懸命勉強している姿を見て、

ですが、授業中に寝る人はいないそうです。日本の大学ほど細部にまで行き届いた設備が整っているとは言いえないまでも、授業に集中して一生懸命勉強している姿を見て、

学生の部屋には、日本語で書かれた本がたくさんあり、ここでもベトナム人の向学心の高さを垣間見ることができました。ベトナムでは、学生が集中して勉強できる環境を、国家ができるだけ

ベトナムの大学は、朝早くから授業が始まりま

ベトナムの大学は、朝早くから授業が始まりま

ベトナムの大学は、朝早くから授業が始まりま